

両 両 中 だ よ り

「心豊かに 自立する」 笑顔と貢献 ～チーム両城で一歩前へ～

令和8年3月増刊号 ホームページアドレス：<https://www.kure-city.ed.jp/~ryoc/>



◇第79回卒業証書授与式 挙行



3月6日(金)、平日挙行になりましたが、多くの来賓や地域、保護者の方にご列席いただき、本校79回目となる「卒業証書授与式」を行いました。

凛とした態度で卒業生が入場して開式。国歌・呉市歌斉唱に続き、卒業生は1人ずつ担任の呼名を受けて返事をし、壇上で校長から卒業証書を受け取りました。

校長は式辞の中で、授与した「卒業証書」に触れ、ここに書かれた番号や名前、生年月日に込められた意味や家族の思いを伝えました。また、新幹線の父と称される技術者 島秀雄さんの言葉「『出来ない』と断言するのは何千もの方法を試す必要があるが、『出来る』と言うには1つの方法を見つければいい」を引用し、可能性を信じ、仲間と一緒に挑戦し続ける姿勢を示すことの大切さなども話しました。

さらに呉市教育委員会から告辞、呉市長(代理)からは祝辞をいただきました。これらに続き、PTA会長からは、これから先の人生で正解の見えない選択を迫られたとき、大切にすべきことや人を思い出し、優しさと勇気で満ち溢れた未来になることを願うことなど、お祝いの言葉をいただきました。その後、いつも明るく頼りがいがあり、優しくしてくれた卒業生、その先輩たちの背中を追い続けた在校生を代表して、現生徒会長が送辞を述べました。

これを受けての前生徒会長の答辞です。緊張した面持ちで門をくぐった3年前、そこから始まった中学校生活での1つ1つの行事や部活、生徒会活動…、かけがえのない思い出やその時々を語り、在校生・教職員・来賓や地域の方・保護者、そして最後に3年生のみんなへ、順に感謝の思いを伝えました(本紙裏面で全文を紹介)。

最後に2曲、「仰げば尊し」の1番は卒業生です。これまで体育館に歌声を響かせてきましたがさすがにこの日は無理…、それを2番で在校生が

一気に盛り上げてくれました。3番と「校歌」を全員で斉唱して式を閉じました。

卒業生は退場後、教室へ。保護者の方に参観していただいたの「最後の学活」です。まずは3年間の思い出を写真(スライドショー)で振り返り。日々接していると気づきませんが、3年間のスパンで見ると、心も体も本当に成長していますよね。



続いて生徒が1人ずつ前へ出て、仲間や家族、教職員へメッセージを伝えました。さすが「自己を認識し自分の人生を選択し表現する力」を身につけてきた卒業生。涙ながら…、という場面もありましたが、最後まで自分の言葉で思いをしっかりと伝えることができていました。1人が終わるたびに拍手が起こり、お互いに支え合い、認め合う雰囲気はこの時間も変わりませんでした。

担任からも最後のメッセージを伝え、記念撮影で「最後の学活」も終了です。さみしいけれど下校…、生徒玄関に出てみると最後にサプライズが!! 卒業証書風の巨大パネルが登場です。両脇にはお祝いのバルーンもあります。親子で、部活の仲間で…、撮影待ちの列は当分続きました。



45名の卒業生のみなさん、またこれまでの成長に関わられた全ての皆様、おめでとうございます。卒業生のみなさんの前途に幸多からんことを心から願い、いつまでも応援しています。



★ 卒業までのカウントダウン ★

2月25日(水)から広島県公立高等学校入学者選抜 一次選抜が行われ、本校からも多くの生徒が「学力検査」と「自己表現」(高等学校によっては学校独自検査も実施)に挑みました。一次選抜が終わった後から卒業証書授与式を迎える日まで、3年生を中心に様子を紹介します。



あと5日(2/27) 黒板装飾



あと5日(2/27) 学校司書の贈り物



あと4日(3/2) クラスマッチ



あと4日(3/2) タブレット返却



あと3日(3/3) 卒業文集作成



あと3日(3/3) 3年生を送る会



あと3日(3/3) 最後の給食



あと3日(3/3) 大掃除



あと2日(3/4) 同窓会入会式、記念品贈呈式



あと2日(3/4) 合同調理実習



あと1日(3/5) 卒業アルバム寄書き



あと0日(3/6) いよいよ当日

◆大会・コンクール等の主な結果

くれ・チャレンジマッチ・スタジアム



ホームページを通じて、呉市立小・中・義務教育学校の児童生徒が楽しく競い合う「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」に本校も参加しました。

部門	種目	記録	学年学級	市内順位
全校参加	ダッシュリレー	935点	1年1組	第6位
	8の字とび	111点	1年1組	第9位
		140点	2年1組	第3位
		132点	2年2組	第6位
		166点	3年2組	第3位
チャトルスローリレー	861点	2年1組	第10位	
チャレンジ	みんなでジャンプ	44点	1年1組	第1位
	ボールキャッチリレー	61点	1年1組	第1位
		38点	1年2組	第3位
		62点	2年1組	第2位
		52点	2年2組	第3位
		47点	3年1組	第1位
		45点	3年2組	第2位

※ 全校参加部門(3種目)は各学年1位から10位まで、チャレンジ部門(7種目)は各学年1位から3位までがそれぞれ表彰されました。

◆トピックス～最近の話題～

	2月27日(金)～ 1・2年生とも体育の時間、ダンスに取り組んでいます。有志のリーダーによる創作ダンス、新入生も含め、5月の体育大会で披露する予定です。
	3月12日(木) 2年生が榊ディスコの出前授業を受けました。手順書をもとにグループごと力を合わせ、昨年度より高度な「ものづくり」に挑戦しました。
	3月16日(月) 1年後を見据え、2年生が自己表現講座を受けました。卒業生5名を招き、約3週間前の入試で実際にに行った自己表現を披露してもらいました。
	3月17日(火) 呉警察署少年係の方にお越しいただき「非行防止教室」を行いました。動画や講話を通してSNS利用で気をつけることなどを考える時間になりました。
	3月18日(水) 2年生を対象とし、呉三津田高の先生に国・数・英の乗り入れ授業を行っていただきました。より高いレベルでの学びに挑戦する意欲向上につながりました。

◇第79回卒業証書授与式 卒業生代表「答辞」

一雨ごとに春めいてまいりました。今日のよき日に、僕たち卒業生のために、このような心温まる卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。

思い返せば3年前、期待とともに不安も大きかった僕たちは、緊張した面持ちでこの両城中学校の門をくぐりました。

友達ができるのだろうか、勉強についていけるのだろうか。そんな思いを抱えながら始まった中学校生活でしたが、日々の活動やたくさんの行事を通して、次第に仲が深まっていきました。

2年生になり、新しいクラスの仲間と学級目標を決め、中学生生活2年目が始まりました。新入生を迎え、中学校でも先輩の立場になり、気持ちが引き締まったことを今でも覚えています。

太陽が照りつける夏休みに行った職場体験では、働くことの大変さ、コミュニケーションの大切さなど、たくさんのことを学びました。さらに、3日間を通して、まだ知らなかった自分自身の可能性にも気付けたような気がしました。

待ちに待った修学旅行では、初日のバスの車内でさえ、ニヤツとしてしまう程、心躍る時間でした。渡月橋から始まり、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンや海遊館。すべての場所で大笑いしたり、感動を共有したりして最高の思い出になりました。このメンバーで行くことができ、ぼくは最高に嬉しかったです。

このような充実した日々を過ごし、僕たちは気づけば、3年生になっていました。最高学年として両城中を引っ張って行く立場になったのです。背中を見せてくれていた先輩たちはもういません。

最後の体育大会では、後輩たちをリードしていけるよう、練習から全力を出しました。本番の朝、

前日から降っていた雨でグラウンドはドロドロでした。しかし、朝早くから先生方と生徒が裸足になり一生懸命グラウンドコンディションを整え、見事、体育大会を行うことができました。

開催できる喜びを味わうことからスタートした当日、競技、係、応援とも全力で取り組み、勝っていても負けていても、どんな時も笑顔を忘れず楽しむことができました。その結果、体育大会のスローガンどおり、生徒全員が「Plus Ultra (プルスウルトラ)」、自分自身の限界を超えることができましたのではないのでしょうか。最高の体育大会でした。

10月の文化活動発表会では、これまで学んだことの発表やダンス、音楽部の演奏で、午前中から体育館は大いに盛り上がりました。午後は合唱コンクール。リハーサルでの1・2年生の歌声に刺激を受け、僕たちは前日までの放課後練習に、より一層力を入れるようになりました。本番では、僕たち史上、一番の歌声を響かせることができたと思っています。

また、初の試みとなる全校合唱では、「ダーリン」を熱唱しました。全校生徒が心を揃えて挑むと、こんなに素晴らしいものができあがるんだということに自分たちも気付いた瞬間でした。アンコールをいただいたときの喜び、歌い切ったときの達成感、僕たちの心につつまでも残っていることでしょう。まさに、スローガンである「今を刻め、未来へ輝け」そして「煌めけ青春」を全員で表現することができました。

3年間の思い出を語る上で欠かせないのが、部活動です。自分のプレーがなかなか上達せず、悔しい気持ち、周りの人たちがどんどん上手になり焦る気持ち。いろんな感情を抱きながら、チームで励まし合い、顧問の先生に支えていただきながら乗り越えてきました。つらい練習や悩むこともありましたが、同じ部の仲間と共に戦い、勝利を手にして喜びを分かち合ったこと、力が及ばず悔しい気持ちを共有したこと。これらはかけがえない宝物です。

生徒会活動も思い出の一つです。僕たちはじめ撲滅キャンペーンの取組として「ハイタッチ運動」や「笑顔ミンミンゼミくじ」などを行いました。みなさんの協力のおかげで朝から多くの生徒を笑顔にしたり、元気に1日をスタートさせたりすることができました。防災の授業などを含め、これまで取り組んできたことが、両城中の伝統になればいいなと思っています。

在校生のみなさん、生徒会長を中心に、今まで以上に笑顔溢れる両城中を作り上げてください。いつまでも応援しています。

先生方、僕たちがここまで成長できたのは、いつも温かく見守り、時には厳しく導いてくださったおかげです。僕たちは何度も失敗し、迷い、立ち止まりました。そのたびに先生方は、決して見放すことなく、僕たち一人一人と向き合い、温かい言葉をかけ続けてくださいました。

勉強だけでなく、努力することの大切さ、人を思いやる心、あきらめない気持ちの強さも教えてくださいました。今振り返ると、その一つ一つが僕たちを支える力となっています。

先生方からいただいた言葉は、これから先、困難に出会ったとき、僕たちの背中をそっと押してくれるはずです。3年間本当にありがとうございました。

ご来賓、地域の皆様、登下校や学校行事の際、いつも温かく見守ってくださったり、優しい声をかけてくださったりしてありがとうございました。皆様との時間は僕たちの大きな支えとなり、安心できる居場所になりました。

感謝の気持ちをいつまでももち、これからも地域を愛し、地域に誇りをもつ大人に成長していきます。これからもよろしくお願いします。

保護者の皆様、いつも仕事や家の事をしながら僕たちを今日、この日まで育ててくださりありがとうございます。普段は恥ずかしくてあまり言葉で伝えられていませんが、いつも心の中で「ありがとうございます」と思っています。

ぶつかりあったり、迷惑をかけたりすることもあると思いますが、これからもどんな時でも僕たちにとって一番の応援者、サポーターでいてください。よろしくお願いします。

最後に、3年生のみなさん、共に笑い、共に悩み、共に励まし合いながら過ごした3年間は、決して当たり前前の時間ではありませんでした。

素敵な仲間と出会え、同じ時間を共有できたことは、僕たちにとって何よりの誇りです。両城中学校での日々の思い出が、これから先も僕たちをつなぎ続けてくれると信じています。僕たちは、それぞれの道を歩み始めます。不安で立ち止まりそうになることもあると思います。しかし、かけがえのない仲間たちとのつながりを信じ、先生方から学んだことを胸に、前へ進んでいきましょう。

この学び舎で過ごした3年間は、僕たちの心の中で、これからも生き続けます。支えてくださったすべての方々への感謝を胸に、新たな一歩を踏み出すことをここに誓い、答辞といたします。

令和8年3月6日

卒業生代表 稲田晃毅



学校相談ダイヤル 体罰、セクハラ・性暴力、その他の相談に応じます。相談日は毎月

第3火曜日ですが、相談したいことがあれば、いつでもこの窓口を利用してください。

【担当】教頭、青野（教務主任）、前原（生徒指導主事）、竹下（保健主事・養護教諭）

【学校電話番号】0823-21-4661 【相談場所】相談室、保健室等

